

7/26(木)~7/29(日)
ホンダ テクニカル カレッジとして
「鈴鹿8耐」に初の単独参戦!!
開幕直前レポート!



単独参戦にチャレンジするメンバー

なぜ単独参戦するのか? 鈴鹿8耐には、2001年から2006まで、プロのレーシングチームであるDDBOYSとジョイントし「ライダーホンダ学園DDBOYS」として参戦してきました。

参戦にあたっては、プロの方にレースマネジメントをお願いし、学生達はレーズメカニックとして活動してきました。しかし、2007年は「ホンダテクニカルカレッジ」として単独参戦します。理由はプロのレーシングチームに頼った甘えた参戦から脱皮することです。鈴鹿8耐の参戦目的は人材育成です。過酷なレースを許されないレースの世界は人を育てるための宝庫です。チームワーク、技術、情熱、全てが要求され結果はクリアに出ています。

鈴鹿8耐に参戦する学生達に皆様のエールをお願いします。学生全員の夢と卒業生の誇りを乗せて全力で走ります。



二輪整備同好会 フロント担当 吉田 圭助

「笑い、泣き、完走する」 今年の目標は、7月29日午後7時30分に皆で笑う事、泣く事、つまり完走する事なんです。

私達が力を合わせて完走する事はHRC(ホンダレーシング)が優勝する事よりも困難な事であり、この歳で8耐に2回も参加できる事を誇りに思います。私の生に度の勝負どころがあるとするは、この8耐です。

私達は、この8耐に全力で取り組み、ホンダテクニカルカレッジの8耐参戦元年を輝かしく飾ってみせます。

最後にこの文章を読んだ下だった皆さん、このチームは純粋なHRCのチームです。皆さんのチームなんです。一緒に素晴らしいメカニックを目指して頑張りましょう!

幾度となくタイヤ交換・給油の練習を重ねる学生達



二輪整備同好会 顧問&第2ライダー 白上 貴紀

「夢を一緒に実現しよう!」 今年から「ホンダテクニカルカレッジ」として単独参戦しますが、学生自ら手がけたマシンにライダーとして参加出来る事を、本当に幸せだと感じています。私がこのHTECを卒業しモータースポーツに情熱を注ぐ中で学んだ事は、まさしくHondaの掲げる「Power of Dreams」です。「夢を実現する為に何をすべきか?」を考え、チャレンジし続ける事が自らの成長に繋がります。目標を達成する事に繋がります。鈴鹿8耐を通して、一生懸命に頑張っている学生の夢を実現します。

今年から「ホンダテクニカルカレッジ」として単独参戦しますが、学生自ら手がけたマシンにライダーとして参加出来る事を、本当に幸せだと感じています。私がこのHTECを卒業しモータースポーツに情熱を注ぐ中で学んだ事は、まさしくHondaの掲げる「Power of Dreams」です。「夢を実現する為に何をすべきか?」を考え、チャレンジし続ける事が自らの成長に繋がります。目標を達成する事に繋がります。鈴鹿8耐を通して、一生懸命に頑張っている学生の夢を実現します。

安定した走りでのサーキットを駆ける白上先生



二輪整備同好会 監督 村石 忠

「更に成長してほしい」 単独参戦により学生がマシンに触る時間を多くすること、より多くの方々と接する機会を与えることにより、学生が更に成長すると考えております。

ライダーも単に速いライダーではなく、学生育成の観点で優秀なライダー2名を選抜いたしました。橋本 充樹さんと白上 貴紀さんです。橋本さんは、耐久スベシャリストで理論派ライダーです。他の専門学校で非常勤講師の経験を持ち、若者好きで学生と対等に会話ができる数少ないライダーです。

一方の白上さんは、HTEC卒業生で「学生メカニックで8耐を走る」を夢にしている本校の教員ライダーです。

今年、学生を指導育成する4名顧問体制でライダー、学生とチーム一丸となり目標に突き進む所存です。

皆様の熱い応援をお願いします。

「更に成長してほしい」 単独参戦により学生がマシンに触る時間を多くすること、より多くの方々と接する機会を与えることにより、学生が更に成長すると考えております。

ライダーも単に速いライダーではなく、学生育成の観点で優秀なライダー2名を選抜いたしました。橋本 充樹さんと白上 貴紀さんです。橋本さんは、耐久スベシャリストで理論派ライダーです。他の専門学校で非常勤講師の経験を持ち、若者好きで学生と対等に会話ができる数少ないライダーです。

一方の白上さんは、HTEC卒業生で「学生メカニックで8耐を走る」を夢にしている本校の教員ライダーです。

今年、学生を指導育成する4名顧問体制でライダー、学生とチーム一丸となり目標に突き進む所存です。

皆様の熱い応援をお願いします。

白上さんと第1ライダーの橋本さん(写真右)

今年から「ホンダテクニカルカレッジ」として単独参戦しますが、学生自ら手がけたマシンにライダーとして参加出来る事を、本当に幸せだと感じています。私がこのHTECを卒業しモータースポーツに情熱を注ぐ中で学んだ事は、まさしくHondaの掲げる「Power of Dreams」です。「夢を実現する為に何をすべきか?」を考え、チャレンジし続ける事が自らの成長に繋がります。目標を達成する事に繋がります。鈴鹿8耐を通して、一生懸命に頑張っている学生の夢を実現します。

安定した走りでのサーキットを駆ける白上先生

People Close Up! 「Hondaエコノパワー燃費競技鈴鹿大会」で、女性では初の2位という輝かしい戦績を残したエコラン同好会の岩川さんをご紹介します!



入念にマシンの最終チェックをします

◆2位という結果を残す事ができた感想は? 初出場で不安な事だらけだったけど、入賞する事が出来たことに嬉しく思っています。

◆大会に向けて取り組んだことは? とりあえず完走できる事を目標に頑張りました。



自動車整備科 2年3組 岩川 由衣



スタート直前の岩川さん

◆最後に全国大会に向けての意気込みを一言! 今大会よりも良い成績を残したいと思っています。でも、とりあえず楽しく走れるようにしたいですね!

◆今大会を通して得たことは? 今大会の目標は「完走」だったので、どんな目標でもそれがあれば頑張れるし、頑張ったことによればどこから自分が成長出来るんだと思います。

◆あなたにとってエコランの面白さは? 白さとは? 走り続ける事、完走する事が面白いなと思います。

これからのスケジュール

7月	8月	9月	10月
<ul style="list-style-type: none"> ●インターンシップ/一級自動車整備研究科(20~8/3日) ●企業実習/自動車整備科2年生(20~31日) ◆二輪整備同好会・鈴鹿8時間耐久ロードレース(26~29日) 	<ul style="list-style-type: none"> ●夏休み(1~19日) ◆エコ・チャレンジ同好会・四国EVラリー(18、19日) 	<ul style="list-style-type: none"> ●期末試験(下旬) 	<ul style="list-style-type: none"> ●学園祭(20日) ●第1回 入学選考(6日) ●第2回 入学選考(13日) ●第3回 入学選考(27日) ◆エコラン同好会・Hondaエコノパワー燃費競技全国大会(7日)

エコラン同好会 快挙!! 1位、2位表彰台独占!!



抜群の安定感で距離を伸ばしていく

「1000km/ℓを目指して」 6月16日(土)、鈴鹿サーキットで行われたHondaエコノパワー燃費競技鈴鹿大会に出場しました。昨年は雨のためリタイアしたため思いをこめて、今年も3台体制で雨対策も万全で望みましました。

大会当日は、晴天に恵まれ結果はグループ1位、2位で表彰台を独占する事ができました。



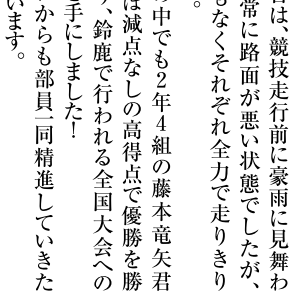
1位、2位表彰台独占!おめでとう!

◆今大会を通して得たことは? 今回の「第27回本田宗一郎杯Hondaエコノパワー燃費競技全国大会」は2007年10月7日、栃木県・ツインリンクもてぎで開催されます。今後とも皆様の応援をお願いいたします。(自動車整備科2年6組 宮田昌樹)

◆今大会を通して得たことは? 今回の「第27回本田宗一郎杯Hondaエコノパワー燃費競技全国大会」は2007年10月7日、栃木県・ツインリンクもてぎで開催されます。今後とも皆様の応援をお願いいたします。(自動車整備科2年6組 宮田昌樹)

◆今大会を通して得たことは? 今回の「第27回本田宗一郎杯Hondaエコノパワー燃費競技全国大会」は2007年10月7日、栃木県・ツインリンクもてぎで開催されます。今後とも皆様の応援をお願いいたします。(自動車整備科2年6組 宮田昌樹)

オートバイ同好会 優勝!!



優勝した藤本くん(写真右)

6月10日(日)、オートバイ同好会は、門真運転免許センターで開催された大阪府二輪車安全運転競技大会に参加しました。

競技は、法規走行、ブレーキング、パイロンスラローム、スネーク一本橋、二本橋、コーススラロームの順に行われ、タイムだけでなく安全確認ライディングフォーム等を加味した総合的な能力が必要になります。

当日は、競技走行前に豪雨に見舞われ、非常に路面が悪い状態でしたが、転倒もなくそれぞれ全力で走りきりました。

その中でも2年4組の藤本電矢君が、ほぼ減点なしの高得点で優勝を勝ち取り、鈴鹿で行われる全国大会への切符を手に入れました!

これからも部員一同精進していきたく思います。

6月10日(日)、オートバイ同好会は、門真運転免許センターで開催された大阪府二輪車安全運転競技大会に参加しました。

競技は、法規走行、ブレーキング、パイロンスラローム、スネーク一本橋、二本橋、コーススラロームの順に行われ、タイムだけでなく安全確認ライディングフォーム等を加味した総合的な能力が必要になります。

当日は、競技走行前に豪雨に見舞われ、非常に路面が悪い状態でしたが、転倒もなくそれぞれ全力で走りきりました。

その中でも2年4組の藤本電矢君が、ほぼ減点なしの高得点で優勝を勝ち取り、鈴鹿で行われる全国大会への切符を手に入れました!

これからも部員一同精進していきたく思います。



新理事長 加藤正彰

これにより、白石基厚前理事長が退任し、新理事長として本田技研工業(株)の加藤正彰専務取締役が就任いたしました。

加藤さんは入社以来、研究所・人事・生産と、幅広い領域で活躍され、現在は研究所の社長として、Hondaの技術革新の層の強化を進めています。

理事交代の理事会が5月21日に開催され、理事長交代が決定いたしました。

「鈴鹿300km観戦」 HRCのジェットを見学 6月10日(日)に、寮行事で鈴鹿8耐の前哨戦である「鈴鹿300km」の観戦に行きました。私は二輪整備同好会のメンバーとして、特別に各チームのピット作業を見学させていただきました。様々なチームのピット作業が興味深かったです。また、HRCのジェットを見学しました。

「鈴鹿300km観戦」 HRCのジェットを見学 6月10日(日)に、寮行事で鈴鹿8耐の前哨戦である「鈴鹿300km」の観戦に行きました。私は二輪整備同好会のメンバーとして、特別に各チームのピット作業を見学させていただきました。様々なチームのピット作業が興味深かったです。また、HRCのジェットを見学しました。

「鈴鹿300km観戦」 HRCのジェットを見学 6月10日(日)に、寮行事で鈴鹿8耐の前哨戦である「鈴鹿300km」の観戦に行きました。私は二輪整備同好会のメンバーとして、特別に各チームのピット作業を見学させていただきました。様々なチームのピット作業が興味深かったです。また、HRCのジェットを見学しました。